




第3回

北海道胆振地域公共交通活性化協議会 総会

—資料—

【資料内容】

- ・住民アンケート調査結果
- 

第3回北海道胆振地域公共交通活性化協議会総会-資料目次-

1.	調査概要について	2
1-1	調査の目的	2
1-2	調査日	2
1-3	調査方法及び対象対象	2
1-4	回収数及び回収率	2
1-5	アンケート調査項目	3
1-6	通学アンケート調査項目	4
2.	調査結果概要について	5
2-1	年代別公共交通利用頻度	5
2-2	年代別路線バスを利用しない理由	6
2-3	市町別公共交通に求めること	7
2-4	市町別公共交通の路線維持に関する考え方	8
2-5	市町別路線維持に向けた方策	9
2-6	市町別今後の公共交通の利用	10
3.	調査結果詳細について	
3-1	あなたご自身のことについて	
3-2	地域を運行する路線バスの認知度等について	
3-3	あなたの日常的な生活移動の状況について	
3-4	公共交通に対する考え方について	
3-5	地域を運行する公共交通に関してのご意見について	
3-6	通学アンケート調査結果について	

事前送付用資料で整理

1. 調査概要について

1-1 調査の目的

各市町、各地区で異なる住民の生活実態（生活圏）や公共交通に対するニーズを把握

1-2 調査日

令和5年8月11日（金）～ 令和5年8月25日（金）

※発送日から2週間の回答期間を設定

1-3 調査方法及び調査対象

郵送による配布（世帯配布として1世帯に2票配布）※回収率向上に向け、WEB回答も可能

郵送による回収

15歳以上の住民（公共交通を利用している・したい方が優先回答）

併せて通学実態把握アンケート調査も実施

1-4 回収数及び回収率（回収数：3,549枚、回収率：22.3%）

市町名	配布世帯数	回収枚数	うちWEB回答数	回収率	通学アンケート回収枚数	通学アンケート回収率
室蘭市	2,200世帯	492枚	60枚	22.4%	7枚	0.3%
苫小牧市	3,000世帯	581枚	96枚	19.4%	11枚	0.4%
登別市	1,900世帯	468枚	60枚	24.6%	8枚	0.4%
伊達市	1,800世帯	499枚	57枚	27.7%	9枚	0.5%
豊浦町	900世帯	209枚	17枚	23.2%	8枚	0.9%
壮瞥町	900世帯	221枚	23枚	24.6%	7枚	0.8%
白老町	1,300世帯	288枚	26枚	22.2%	1枚	0.1%
厚真町	1,000世帯	278枚	36枚	27.8%	7枚	0.7%
洞爺湖町	1,100世帯	183枚	32枚	16.6%	5枚	0.5%
安平町	900世帯	171枚	20枚	19.0%	3枚	0.3%
むかわ町	900世帯	159枚	14枚	17.7%	3枚	0.3%

1. 調査概要について

1-5 アンケート調査項目

大項目	細項目
1. あなたご自身のことについて	
	問1 あなたの性別・年齢・家族構成について
	問2 あなたの職業について
	問3 あなたの住所について
	問4 免許・自動車の保有状況について
	問5 自動車の運転意向について
	問6 将来、運転が困難になった場合の移動手段について
	問7 免許返納により困ることについて
2. 地域を運行する路線バスの認知度等について	
	問8 あなたの普段の路線バスの利用頻度について
	問9 自宅から最寄りの路線バスのバスサービスの認知度について
	問10 問9のバスサービスについて、事前に知ることが出来た場合の利用意向について
	問11 路線バスを利用しない理由について
	問12 問11の内容が改善された場合の利用意向について
3. あなたの日常的な生活移動の状況について	
	問13 通学及び通勤の状況について
	問14 主な買い物及び通院の状況について
4. 公共交通に対する考え方について	
	問15 あなたの今後の公共交通の利用について
	問16 お住まいの地域を運行する公共交通に特に求めることについて

1. 調査概要について

1-5 アンケート調査項目

大項目	細項目
5. 地域を運行する公共交通に関してのご意見について	
	問17・18・19 各市町でよく行く行き先（上位3つ）へ移動する際の公共交通サービスについて
	問20 現在の地域間を跨ぐ路線バスのサービス維持あるいは確保に関する考え方について

1-6 通学アンケート調査項目

大項目	細項目
1. 個人属性について	
	問1 学年について
	問2 性別について
	問3 居住地について
	問4 通学先の自治体について
	問5 部活動等への所属について
2. 進路選択への公共交通運行状況の寄与及び公共交通利用で困っていることについて	
	問7 通学先を決めた際に公共交通の運行状況を意識したかについて
	問8 公共交通の運行状況のうち、意識したことについて
	問9 公共交通利用で困っていること・不便なことについて



2. 調査結果概要について

2-1 年代別公共交通利用頻度

□胆振地域内を運行するJR及び路線バスの利用状況としては、**通学世代及び高齢世代の利用が主**であり、主に自家用車で移動する**生産年齢層は公共交通の利用頻度が低下**する傾向にあります。

問17・18・19_①利用頻度_路線バス・JR
 (路線バスn=8,063)
 (JRn=7,135)

路線バス	ほぼ毎日	週に2日以上	週に1日	2週間に1日	月に1日	数力月に1日	めったに行かない
10歳代	11.1%	3.4%	2.6%	0.0%	0.9%	1.7%	80.3%
20歳代	0.7%	0.0%	0.3%	1.7%	1.7%	4.1%	91.5%
30歳代	0.2%	0.4%	0.8%	0.8%	0.8%	2.5%	94.5%
40歳代	0.2%	0.6%	0.6%	0.6%	1.5%	2.4%	93.9%
50歳代	0.7%	0.9%	0.8%	0.3%	1.2%	3.0%	93.1%
60～64歳	1.2%	1.0%	0.9%	0.7%	1.5%	1.8%	92.8%
65～69歳	0.8%	1.0%	1.1%	1.6%	1.0%	3.7%	90.7%
70～74歳	0.5%	1.7%	1.8%	1.7%	2.7%	4.8%	86.7%
75歳以上	0.9%	2.6%	2.6%	3.0%	4.6%	8.4%	77.9%

JR	ほぼ毎日	週に2日以上	週に1日	2週間に1日	月に1日	数力月に1日	めったに行かない
10歳代	19.8%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	4.0%	68.3%
20歳代	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	1.9%	10.2%	86.5%
30歳代	1.1%	0.9%	0.4%	0.7%	0.2%	1.6%	95.1%
40歳代	0.4%	0.2%	0.4%	0.2%	1.5%	3.2%	94.1%
50歳代	0.9%	0.5%	0.5%	0.3%	2.1%	4.7%	91.1%
60～64歳	1.1%	0.0%	0.3%	0.7%	1.4%	5.3%	91.3%
65～69歳	0.3%	0.2%	0.4%	0.2%	1.5%	3.5%	93.8%
70～74歳	0.4%	0.1%	1.0%	0.4%	3.0%	5.6%	89.6%
75歳以上	0.3%	0.4%	0.5%	0.9%	3.4%	8.5%	86.0%



2. 調査結果概要について

2-2 年代別路線バスを利用しない理由

□路線バスを利用しない理由としては、「自分で自動車等を運転できる」とする回答が最も多くなっていますが、バスサービス面に着目すると、「乗りたい時間の運行がない」や「路線の行き先が分からない」など**バスサービス改善や周知の充実に係る回答**が多くなっています。

□さらに、「自宅からバス停までの距離が遠い」ことで、バス利用から離れている傾向も見受けられ、**バス路線までの市町内におけるアクセス交通の整備**についても検討が必要です。

問11 路線バスを利用しない理由

(n=2,646)

	乗りたい時間の運行がない	自宅からバス停までの距離が遠い	目的地からバス停までの距離が遠い	行きたい所へ行く路線がない	目的地までの運賃が高い	バスを利用するほどの距離へ外出しない	時刻が分からない	乗り方が分からない	路線や行き先が分からない	自分で自動車等を運転できる	家族等が自動車で送迎してくれる	その他
10歳代	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	64.3%	14.3%
20歳代	15.7%	14.3%	4.3%	4.3%	7.1%	5.7%	8.6%	1.4%	7.1%	74.3%	14.3%	5.7%
30歳代	18.1%	7.6%	4.9%	8.3%	7.6%	2.1%	10.4%	2.8%	11.1%	82.6%	9.7%	4.2%
40歳代	15.4%	5.7%	4.3%	8.6%	7.5%	2.9%	6.1%	3.6%	7.9%	74.2%	6.8%	3.9%
50歳代	17.2%	7.1%	2.7%	6.8%	6.3%	1.4%	7.4%	3.6%	10.9%	85.2%	7.9%	3.8%
60～64歳	13.8%	8.4%	4.2%	7.3%	6.1%	1.9%	9.2%	4.6%	6.9%	86.2%	13.4%	3.8%
65～69歳	8.7%	8.1%	3.2%	6.1%	2.3%	3.2%	7.5%	2.9%	9.0%	81.2%	15.6%	2.9%
70～74歳	11.7%	9.6%	4.6%	5.4%	2.8%	3.5%	6.7%	3.7%	8.5%	74.1%	20.4%	3.7%
75歳以上	12.7%	12.6%	7.5%	7.6%	3.3%	5.0%	10.8%	4.5%	8.5%	55.5%	28.2%	6.4%

2. 調査結果概要について

2-3 市町別公共交通に求めること

□公共交通に求めることで、最も多い回答は「自宅や自宅付近から乗車し、乗り継ぎをしないで他の市町村に行けること」となっていますが、バス利用者に着目した整理を行うと、「目的地に到着してほしい時間帯に利用できること」の回答が最も多い結果となっており、既存利用者を確保し続ける観点から、**利用者ニーズに即した路線再編を継続的に行っていく**ことが重要です。

□また、「住んでいる市町内での移動が便利であること」や「分かりやすい路線図や時刻表が整理されていること」についても回答が多くなっており、**各市町内のフィーダー系統の充実やJR・バス等が一体的に整理された周知物の作成・配布などの取り組み**も進めていく必要があります。

問16 公共交通に特に求めること

	自宅や自宅近辺から乗車し、乗り継いで他の市町村に行けること	自宅や自宅近辺から乗車し、乗り継ぎをしないで他の市町村に行けること	目的地に到着してほしい時間帯に利用できること	他の市町村に行く際の運賃が利用しやすいこと	住んでいる市町内で移動する際の運賃が利用しやすいこと	市町村を跨ぐ公共交通の総移動時間が短いこと	住んでいる市町内での移動が便利であること	始発時間が早くなること	終発時間が遅くなること	分かりやすい路線図や時刻表が整理されていること	その他	現状のままで良い
全 体												
室蘭市(n=424)	25.9%	47.4%	43.6%	29.0%	41.5%	16.5%	46.0%	6.1%	12.0%	36.1%	4.2%	10.1%
苫小牧市(n=505)	25.5%	27.9%	34.1%	22.0%	32.5%	10.7%	38.8%	4.4%	8.5%	34.7%	5.0%	9.5%
登別市(n=425)	24.9%	58.4%	48.5%	33.2%	35.3%	18.6%	42.6%	5.9%	10.8%	41.6%	4.5%	9.6%
伊達市(n=455)	20.2%	47.7%	43.7%	34.5%	28.1%	19.3%	37.1%	5.9%	10.8%	37.1%	3.7%	16.0%
豊浦町(n=183)	29.5%	56.8%	51.4%	40.4%	23.5%	28.4%	26.2%	5.5%	7.7%	35.5%	3.3%	14.2%
壮瞥町(n=197)	25.9%	57.9%	50.3%	36.5%	20.3%	13.2%	21.8%	5.6%	12.2%	32.5%	5.1%	9.6%
白老町(n=259)	29.3%	57.9%	48.6%	39.0%	24.3%	20.5%	36.7%	9.3%	11.6%	40.5%	2.7%	6.2%
厚真町(n=230)	28.3%	53.9%	41.3%	43.5%	23.0%	17.8%	27.4%	7.0%	10.0%	27.4%	4.3%	12.2%
洞爺湖町(n=162)	28.4%	50.0%	53.7%	33.3%	23.5%	17.3%	28.4%	5.6%	8.0%	38.9%	3.7%	16.0%
安平町(n=152)	34.9%	52.0%	45.4%	37.5%	28.9%	24.3%	28.3%	9.9%	14.5%	38.8%	6.6%	11.2%
むかわ町(n=136)	25.0%	47.1%	38.2%	27.2%	23.5%	16.9%	30.1%	12.5%	10.3%	27.2%	2.2%	15.4%
バス利用者												
室蘭市(n=74)	24.3%	52.7%	55.4%	32.4%	51.4%	18.9%	55.4%	9.5%	18.9%	44.6%	6.8%	9.5%
苫小牧市(n=63)	25.4%	23.8%	41.3%	20.6%	31.7%	9.5%	38.1%	11.1%	14.3%	30.2%	6.3%	7.9%
登別市(n=46)	19.6%	58.7%	76.1%	34.8%	41.3%	21.7%	43.5%	8.7%	10.9%	41.3%	6.5%	4.3%
伊達市(n=31)	25.8%	64.5%	67.7%	61.3%	38.7%	41.9%	54.8%	3.2%	12.9%	48.4%	3.2%	9.7%
豊浦町(n=5)	40.0%	100.0%	80.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%
壮瞥町(n=10)	40.0%	70.0%	60.0%	40.0%	40.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%
白老町(n=11)	36.4%	54.5%	63.6%	36.4%	27.3%	18.2%	36.4%	9.1%	0.0%	45.5%	9.1%	9.1%
厚真町(n=11)	36.4%	72.7%	45.5%	72.7%	27.3%	18.2%	45.5%	0.0%	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%
洞爺湖町(n=12)	33.3%	41.7%	75.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	8.3%	25.0%	0.0%	25.0%
安平町(n=13)	30.8%	69.2%	76.9%	38.5%	30.8%	30.8%	30.8%	23.1%	15.4%	69.2%	7.7%	15.4%
むかわ町(n=8)	25.0%	12.5%	50.0%	25.0%	37.5%	25.0%	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%

2. 調査結果概要について

2-4 市町別公共交通の路線維持に関する考え方

- 各地区における公共交通の路線維持に関する考え方としては、「路線バスとJRの運行時間帯が重複せず、利用できる時間帯を増やした運行形態が良いと思う」の回答が各市町の回答で最も多く、**路線バスとJRのダブルスタンダードによる運行形態の確保に向けた協議・取り組み**を実施することが重要です。
- また、持続可能な交通体系の確保に向けては、**重複している路線バスの統合や路線バス-路線バスの乗り継ぎなど、ゾーンバス化も視野に入れた検討**が必要です。
- その際、シームレスに交通体系の実現に向け、**各地区で交通結節点（ローカルバスタ・ミニバスタ）の整備も併せて検討**していくことが重要です。

問17・18・19_ ③公共交通の路線維持に関する考え方
_路線バス・JR

	路線バスとJRの運行時間帯が重複せず、利用できる時間帯を増やした運行形態が良いと思う	現状よりも公共交通サービスが向上するなら、乗り換えが発生しても良いと思う	利用状況を踏まえ重複している路線・系統は統合するなど、効率化を図ると良いと思う	現状の公共交通サービスを維持することが良いと思う	その他
室蘭市(n=1556)	33.3%	17.2%	20.1%	24.0%	5.4%
苫小牧市(n=1102)	43.1%	9.3%	25.5%	18.5%	3.6%
登別市(n=1330)	32.3%	17.1%	21.2%	23.1%	6.2%
伊達市(n=962)	31.4%	15.3%	23.2%	24.2%	5.9%
豊浦町(n=515)	39.0%	18.1%	15.1%	20.4%	7.4%
壮瞥町(n=482)	30.1%	18.3%	24.9%	24.1%	2.7%
白老町(n=830)	41.6%	15.4%	20.6%	19.3%	3.1%
厚真町(n=630)	18.3%	26.5%	25.4%	20.2%	9.7%
洞爺湖町(n=493)	32.7%	20.7%	21.7%	19.5%	5.5%
安平町(n=459)	40.7%	12.6%	19.8%	21.8%	5.0%
むかわ町(n=350)	40.6%	15.7%	18.3%	22.6%	2.9%

2. 調査結果概要について

2-5 市町別路線維持に向けた方策

□現状・再編後の広域移動の確保に向けては、「補助金（原資は税金）を出して、現在の路線バスのサービスを維持していく」とする回答が約6割であり、交通事業者の運転手不足や経営面を考慮した場合、**路線再編などを行いながら胆振地域の住民の広域的な生活移動を確保**しつつ、**広域交通の維持・確保に向け、各市町からも必要な支援を実施**していくことが必要です。

問20 地域間を跨ぐバスのサービス維持あるいは確保に関する考え方 (n=2,807)

	A だ と 思 う	ど ち ら か と 思 う A だ と 思 う	ど ち ら か と 思 う B だ と 思 う	B だ と 思 う
室蘭市(n=396)	32.1%	48.0%	13.1%	6.8%
苫小牧市(n=478)	29.9%	40.8%	17.6%	11.7%
登別市(n=363)	36.6%	40.5%	16.0%	6.9%
伊達市(n=402)	32.3%	43.0%	15.7%	9.0%
豊浦町(n=175)	31.4%	46.9%	16.6%	5.1%
壮瞥町(n=170)	40.6%	41.8%	8.2%	9.4%
白老町(n=221)	42.1%	39.8%	12.7%	5.4%
厚真町(n=208)	30.8%	50.0%	11.1%	8.2%
洞爺湖町(n=150)	35.3%	40.7%	14.7%	9.3%
安平町(n=131)	35.9%	46.6%	6.9%	10.7%
むかわ町(n=113)	32.7%	38.1%	20.4%	8.8%

Aの考え方：補助金（原資は税金）を出して、現在の路線バスのサービスを維持していく

Bの考え方：補助金（原資は税金）を出すよりも、路線の再編や減便・運賃を上げることが先である

2. 調査結果概要について

2-6 市町別今後の公共交通の利用

- 今後の公共交通の利用について、「公共交通に頼らざるを得ないため大事な移動手段である」とした回答が最も多く、また「数年後には免許を返納する予定のため大事な移動手段である」とする回答も多くなっており、**今後も広域的な生活移動を確保する公共交通の維持・確保は胆振地域として必要な取り組み**となります。
- 一方で、より公共交通を利用しやすい環境の構築に向け、「免許返納等に関わらず、運賃助成等の支援があれば利用すると思う」とする回答も一定数見られることから、**各市町が連携した行政支援の検討・継続**をしていくことが必要です。

問15 今後の公共交通の利用

	公共交通に頼らざるを得ないため大事な移動手段である	数年後には免許を返納する予定のため大事な移動手段である	免許返納等に関わらず、運賃助成等の支援があれば利用すると思う	数年後には進学等で今の住まいから引っ越すため、利用しなくなると思う	自動車が主な交通手段だが、極力公共交通を利用したいと思う	自動車が主な交通手段のため、利用しないと思う
室蘭市(n=451)	46.3%	30.2%	24.6%	2.9%	22.6%	23.1%
苫小牧市(n=536)	41.6%	30.8%	21.3%	0.9%	17.4%	21.8%
登別市(n=435)	41.4%	36.3%	27.4%	0.7%	19.5%	28.0%
伊達市(n=449)	34.7%	31.2%	25.6%	1.3%	17.6%	35.4%
豊浦町(n=185)	38.4%	28.6%	17.3%	1.1%	23.2%	44.9%
壮瞥町(n=196)	34.2%	25.5%	19.4%	3.6%	18.4%	45.4%
白老町(n=263)	44.5%	37.3%	26.6%	0.4%	19.0%	30.4%
厚真町(n=239)	27.2%	33.1%	15.1%	1.7%	20.1%	44.4%
洞爺湖町(n=165)	32.1%	31.5%	19.4%	3.0%	24.8%	35.8%
安平町(n=152)	41.4%	29.6%	18.4%	2.0%	26.3%	31.6%
むかわ町(n=137)	34.3%	31.4%	12.4%	2.9%	20.4%	44.5%